

當について	2・3
○全国学力調査に関連させた生活調査の結果	2・3
△研究発表	
○どのようにして学力向上をはかったか	6
○我が村社会教育の現状と問題点	9
○我が町の社会教育	11
○技術と教育	12
○「御巡見使様方」考	12
○新生活運動の一端	1
○活動するPTA	1
○海外視察—教育事情調査視察の旅を終えて—	1
○米遊諸家紀行文年表	2・3
△職場めぐり	
○佐倉中学校	6
○滝根中学校	7
○須賀川第一中学校	9
○大浦小学校	10
○川部中学校	10
△特集	
○教育・文化功勞者表	11

B 年報（本書）

34年度県教育委員会活動の全般まをとめて、本書とした。

1年間の本県教育の歩みを記録することにより、次年度の進歩改善に役立たせ、又広く県下教育関係者の閲覧に供し、「教育の動き」を把握していただきたいと念願している。

C 編集委員

月報・年報編集委員として各課より1名宛委嘱され、年間広報計画の運営にあたった。

秘書室	渡辺 五郎
財務課	武井 真
学校教育課	木幡 三夫
保健体育課	佐々木英雄
社会教育課	阿曾 順
教育調査研究所	吉田 良一

4 報告書および資料

調査と研究の結果は前節において、精しくのべてあるが、ここでは便宜上—らん表として掲載する。

種 別	配布期日	担 当	備 考
学校統計要覧	8月	調 査	
高等学校入学志願者選抜のための学力検査結果の調査報告書	9月	研 究	
全国学力調査	12月	研 究	文部省の中間発表と関連させた本県の実態を月報1月号に発表
教育費の実態昭和33会計年度	1月	調 査	
全国学力調査に関連させた生活調査の報告書—学力と児童の生活との関連—	1月	研 究	
長期欠席児童生徒調査結果報告	2月	調 査	
学校教員需給調査結果報告	2月	調 査	
診断的性格を帯びた福島県で標準化した学力検査問題の報告書（その三）—算数・数学学習の診断と治療 小3・4中2—	3月	研 究	
非行傾向児の早期発見に關する研究の報告書—その二—	3月	研 究	
診断的性格を帯びた 学力検査問題の報告書（その四）福島県で標準化した—国語学習の診断と治療 小3・4、中2—	3月	研 究	

5 附属図書館

教育調査研究所の附属図書室は、昭和33年11月に新たに出来た県立図書館内に移転し、12月より貸出しを再開してから、1年有余を経て来た。

閲覧室を失ってからの経営には、多くの困難と問題点があったが、次々と改善への努力を重ね、現在に至っている。

教育図書室として、現場の教職員、福大学芸学部学生の利用を考え、内容の充実、利用法の簡素化に力をそそぎ現在教育図書、7,940冊、教育資料4,000冊の蔵書を備え、大いにその役割を果たしている。又本年は移転後、

整理不十分であった教育資料の整備に力を入れた。

教育図書館として、権威のある教育図書を有していることは、もちろんであるが、ことに教育資料については、文部省刊行物や、各都道府県の研究要覧、広報、研究紀要、各学校の実践記録、研究物、各教科研究調査資料等を、整然と分類区分することにより、貸出事務の効率化を図った。

今後、利用者がますます増化していくものと期待しているわけである。

昭和34年度図書購入一覧表

総 記
読書科学 日本読書学会